



学校教育目標 社会に貢献しながら、
自立する生徒の育成
～気づき、考え、実行する～

やまゆり

校訓 「和の心」

指導重点

- ① 居心地がよく、やる気のある
学級集団・学校づくり
- ② 確かな学力の育成
- ③ 豊かな心の育成
- ④ 健やかな身体の育成
- ⑤ 特別支援教育の推進
- ⑥ 生徒の良さを伸ばし、課題を解決するための
「連携・協働」の推進



学びと健康の両面で成果

今年度の校内研究を振り返る

本校では「自立した学習者の育成」を研究テーマに掲げ、個別最適な学びと協働的な学びの充実を目指して取組を進めてきました。小学校との連携を強め、義務教育9年間を通して、子どもたちの成長を、連続的に支えることを大切にしてきました。

研究の過程では、QUやN I N O (標準化検査)を活用し、一人ひとりの姿を丁寧に把握しながら、学級集団の安定と活性化を図ってきました。ICTの活用や自由進度学習にも取り組み、自分に合った学び方を選び、興味・関心を生かして、学びを深める授業づくりを進めてきました。特に今年度は、施設一体型校舎を生かした実践が数多く生まれました。

先日、小中双方の管理職(校長・教頭)と研究主任・副主任が集まり、今年度の校内研究を振り返り、次年度の方向性を考えるリフレクションの場を持ちました。

「小中で子どもの姿を共有することで、授業づくりの視点が広がった」「9年間の学びを意識することで、指導のつながりを、

より大切にできるようになった」等といった声が聞かれました。学校種を越え、互いの実践を共有し課題を前向きに語り合い、次年度への新たな視点を見いだすことができたことは、大きな成果となりました。



さらに、2月24(火)・25日(水)には、本校の取組に関心を寄せた県外の先生方が、遠く九州・佐賀県からやってきました。QUやN I N Oを活用した学級づくりや授業づくりの一端を紹介し、研修されました。私たちの校内研究が、他地域の先生にも貢献できた貴重な機会となりました。

これらの背景には、日々の学校生活を温かく支えて

くださった保護者や地域の皆様のご理解とご協力があります。学校への前向きなご意見、行事への参加・協力等、子どもたちの学びを力強く支えていただいています。ありがとうございます。



これからもこの研究風土を大切にしながら、持続可能な研究スタイルを築いていきたいと考えています。

口腔衛生推進優良校

この度、本校が長年にわたり学校歯科保健の充実に取り組んできたことが評価され、「口腔衛生推進優良校」として表彰を受けました。これは、児童・生徒の健康を守るために、学校・家庭・地域が一体となって継続してきた取組が実を結んだものです。定期的な歯科検診や歯みがき指導に加え、生活習慣の改善や食育との連携を図りながら、口腔衛生の大切さを日常的に伝えてきました。

2月19日(木)の表彰式では、地域の学校歯科保健の発展に寄与してきたことが紹介されました。子どもたちの健康を守る取組は、日々の学びを支える大切な基盤です。口腔の健康が整うことで、食事をしっかりと、授業に集中し、心身ともに健やかに学校生活を送ることが出来ます。

今後も、歯科検診や歯みがき指導の充実に加え、生活習慣の見直しや食育との連携をさらに深め、子どもたちが自ら健康を守る力を育めるよう取り組んでまいります。健康づくりは学校だけで完結するものではなく、ご家庭での毎日の習慣が大きな役割を果たします。引き続き、規則正しい生活や歯みがき習慣の定着にご協力いただき、子どもたちの健やかな成長をともに支えていただければ幸いです。

